

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成23年3月25日			
	総事業費	1,138,572千円			
	交付金額	355,406千円			
	整備対象地域	旧黒木町、旧立花町、旧上陽町、旧矢部村、旧星野村			
	事業の内容	<p>本市は、平成18年10月及び平成22年2月の2度にわたって、1市3町2村による市町村合併を行ったが、旧黒木町の一部、旧立花町の一部、旧上陽町、旧矢部村、旧星野村の3町2村においては、光ブロードバンドゼロ地域となっており、民間電気通信事業者による整備が進まないこともあり、市街地との情報格差が生じた。このことを受け、定住自立圏形成における格差是正の情報通信基盤として、FTTH方式による光ファイバー施設を整備し、超高速インターネット接続を可能とし、安心・安全・便利・快適な通信サービスが利用できる環境を整備することで住民サービスの向上を図り、地域間の情報格差の是正と地域の活性化を推進することとした。</p>			
BB	サービス開始日	平成23年4月1日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	西日本電信電話株式会社			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	10,200	10,200	10,200	10,200
	加入世帯数	2,554	5,108	2,266	2,629
	加入率(%)	25%	50%	22.22%	25.77%
評価及び課題	<p>平成27年度末実績で、当初目標の25%を上回る状況であり情報格差是正に一定の成果が見られる。最近では、加入率も伸びており、当面の堅調さが予想されるが、中期的に見れば、人口減少や少子高齢化が進行するなか、加入率の鈍化が懸念される。</p>				
今後の取組及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、未加入世帯に対して、市公式HPや広報誌、チラシの配布、IRU事業者との連携により加入促進を図る。</li> <li>・自宅までの引込工事費用の無料化を前提とした加入促進を図る。</li> <li>・移住定住促進施策との連動により加入促進を図る。</li> <li>・産業や福祉など、地域特性に応じたICT利活用の検討を深化し、幅広い活用方法について啓発を行うことで加入促進を図る。</li> </ul>				